



国際クルーズ船 「ウエステルダム号」が 石垣港、那覇港へ寄港しました！ ～海外からの国際クルーズ船の受入れは、約3年ぶり～

オランダ船籍の国際クルーズ船「ウエステルダム号」(総トン数82,862t)(乗客1,908名、乗員784名)が令和5年3月8日(水)石垣港に、翌3月9日(木)那覇港に寄港しました。海外から沖縄県への国際クルーズ船の寄港は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年2月を最後に途絶えていましたが、この「ウエステルダム号」により約3年ぶりに再開しました。



▲那覇港に寄港した「ウエステルダム号」(R5.3.9)

石垣港では、再開された国際クルーズ船を沖縄県内で最初に受け入れることとなり、この「ウエステルダム号」の寄港にあわせて歓迎セレモニーが開催されました。石垣港の岸壁上では、船長への花束贈呈や地元パナパナ会による、沖縄の伝統楽器「四つ竹」を鳴らした演舞が披露されました。那覇

港では3年ぶりの国際クルーズ船を一目見ようと多くの見物客が訪れ、那覇港クルーズターミナルはお祭りの様な賑わいを見せていました。

また、検疫や入国手続きを終えた乗客の皆様は、バス、タクシー、徒歩で観光を楽しんだご様子でした。



▲石垣港に寄港した「ウエステルダム号」(R5.3.8)

海外からの国際クルーズ船の受入れ再開にあたっては、昨年11月に業界団体が新たなガイドラインを策定したことを受け、港湾、医療、

搬送、観光、税関、入管、検疫の関係機関から成る沖縄県クルーズ船受入協議会等で、事前に受入れに関する議論・合意を行いました。

また、新型コロナウイルス感染防止対策については、日本国際クルーズ協議会(JICC)ガイドラインに基づき適切な対策・運用がなされ、問題なくクルーズの運航を行うことができました。

今後も、安全で安心したクルーズが楽しめるよう感染対策の徹底を図り、地元への理解を得ながら、順次運航が再開される予定です。

那覇港でのお出迎の様子(R5.3.9)



▲石垣港での歓迎セレモニーの様子(R5.3.8)



お問合せ先
開発建設部 港湾計画課

☎098-866-1906